

平成29年度第2回花巻市地域自治推進委員会 会議録

1 会議の日時及び場所

(1) 日時 平成30年1月31日(水) 午前10時～午前10時30分

(2) 場所 花巻市役所本庁舎3階 委員会室

2 出席委員(出席12名、欠席3名)

区分	団体等	氏名	出欠
第1号委員 公共的団体から 推薦された者	花巻市認定農業者協議会副会長	川村 厚	出席
	花巻市商店街振興組合協議会会長	佐藤 良介	出席
	花巻温泉郷観光推進協議会副会長	清水 隆太郎	欠席
	花巻地域交通安全母の会連合会監事	小野 タエ子	欠席
	花巻市区長会 (花北地区、花巻中央地区)	盛岡 耕市	出席
	花巻市区長会 (花南地区、矢沢地区)	関 喜平	出席
	花巻市区長会 (湯本地区、宮野目地区)	熊谷 喜郎	出席
	花巻市区長会 (湯口地区、太田地区、笹間地区)	新渕 信郎	出席
第2号委員 学識経験を有する者	行政相談委員	岩渕 満智子	出席
	花巻市食生活改善推進協議会顧問	齋藤 洋美	出席
	花巻市立図書館協議会会長	坂本 知彌	欠席
	花巻芸術協会副会長	福盛田 弘	出席
第3号委員 公募委員		阿部 善郎	出席
		伊藤 吉守	出席
		曾我 紀子	出席

3 事務局(3名)

市村地域振興部長、佐々木地域づくり課課長補佐、佐々木地域づくり課地域振興係長

4 説明員(4名)

久保田総合政策部長、伊藤秘書政策課長、高橋秘書政策課課長補佐、赤坂秘書政策課企画調整係長

5 傍聴者 1名

6 議事の概要

(1) 開会 (地域づくり課課長補佐)

(2) あいさつ(会長)

(3) 協議(会長)

① 鉛辺地における辺地総合整備計画の変更(案)について

(説明:久保田総合政策部長)

(4) 閉会 (地域づくり課課長補佐)

※ 会議での主な発言内容は別紙のとおり

※ 別紙（平成 29 年度第 2 回花巻市地域自治推進委員会での発言内容）

発言者	発言要旨
佐々木地域づくり課 課長補佐	定刻となりました。委員 15 名中 12 名の出席があり、花巻市地域自治推進委員会条例第 5 条第 2 項に規定する半数以上の委員が出席しておりますことから、本委員会は成立しておりますことを御報告いたします。それでは、ただ今から平成 29 年度第 2 回花巻市地域自治推進委員会を開会いたします。開会にあたりまして、岩渕満智子会長より御挨拶を申し上げます。
岩渕会長	平成 29 年度第 2 回花巻市地域自治推進委員会を開催するにあたり、御多忙の中、また足元の悪いところお集まりいただいたことに感謝申し上げます。本日皆様に御協議いただく案件は、「鉛辺地における辺地総合整備計画の変更(案)について」の 1 件です。よろしく申し上げます。
佐々木地域づくり課 課長補佐	それでは、次第の「3 協議」に入らせていただきます。 花巻市地域自治推進委員会条例第 4 条第 2 項に「会長は会議の議長となる」と規定しておりますことから、以降の進行は岩渕会長にお願いいたします。
岩渕会長	委員の皆様にご協議いただく前に、この案件に関して本委員会の事務局から説明があります。
佐々木地域づくり課 課長補佐	この案件に関しましては、花巻市地域自治推進委員会条例第 2 条の規定に基づく本委員会の意見を聴かなければならない案件として、市長から会長あてに文書による回答を求める依頼書が提出されております。その点お含みおきのうえ御協議くださいますよう、よろしく申し上げます。
岩渕会長	ただ今事務局から説明がありましたとおり、本件に関しては文書による回答を求められておりますのでよろしく申し上げます。それでは、「鉛辺地における辺地総合整備計画の変更(案)について」、担当の総合政策部秘書政策課から説明をお願いいたします。
久保田総合政策部長	(別途配布した資料に基づき説明)
岩渕会長	担当からの説明がありました。委員の皆様から御意見をいただきたいと思っております。
伊藤委員	資料には鉛温泉スキー場の外壁補修や施設改修、圧雪車の整備に事業費 156,507 千円と記載されておりますが、随分掛かりますね。それぞれの内訳はどのようになっていますか。
伊藤秘書政策課長	大きく分けて 4 つの計画からなっております。はじめに、スキーセンターの改修についてですが、外壁修繕や 1 階トイレの洋式化に約 3,000 万円を見込んでいます。次に、現在 3 つあるリフトのうち、現在休止している第 3 リフトを除いた第 1 リフトと第 2 リフトの 2 か所について、ワイヤー交換のほか、機械・電気設備や監視施設の改修をしようとするものです。第 1 リフトについては昭和 59 年、第 2 リフトは昭和 62 年に建設されたものです。この度の改修計画では、各々に 3,700 万円と 3,900 万円ほどを見込んでおります。最後の圧雪車についてですが、5,000 万

	<p>円ほどを見込んでおります。現在のものは平成 14 年に購入しておりまして、通常の耐用年数は 5～6 年程度とされているところです。いずれにいたしましても、これらの改修等は現在の施設の機能維持を図る範囲内で行おうとするものでございます。</p>
伊藤委員	<p>鉛温泉スキー場の最近の利用客の状況はいかがでしょう？</p>
伊藤秘書政策課長	<p>この 5 年間の利用客数ですが、平成 24 年度は 16,473 人、平成 25 年度は 15,813 人、平成 26 年度は 16,316 人、平成 27 年度は雪不足の年でしたが 6,232 人、平成 28 年度も雪不足の年で 8,344 人となっております。なお、本年度については 12 月 23 日から 1 月 30 日現在で 7,198 人となっております。スキー人口自体も少なくなっていることのほか、積雪量も影響しているかと思えます。</p>
曾我委員	<p>利用客数に関連してですが、夏油や安比に比べて宣伝広告が少なく感じています。宣伝広告の充実に取り組んでいただきたいと思えます。</p>
齋藤委員	<p>利用者数の大小に関わらず、利用者の命に関わることでありますので施設管理にはしっかりと取り組んでいただきたいです。また、こうした有利な資金を上手に取り入れながら、特色ある地域づくり、地域の活性化を進めていただきたいと思えます。</p>
伊藤委員	<p>スキー指導員をしている友人にも聞いたのですが、今回の施設改修の話は喜んでいるようでした。誘客についてですが、花巻空港には台湾との直行便もあるわけですし、こうした海外からの観光客にも来てもらうようなことも考えてもよいのではないのでしょうか。これだけの改修をし、資金をかけたのであれば、利用客数の増加に向けて色々考える必要があると思うのです。</p>
久保田総合政策部長	<p>御指摘のとおりかと思えます。安比のような大きなスキー場との連携も重要視しております。県内唯一の空港が花巻にあるという強みを活かして、花巻にお泊りいただきながら、安比や夏油、雫石のような大きなスキー場までお客様を運ぶといった連携を取っていくのも効果的ではないか考えています。鉛スキー場はファミリー向けの要素も強いので、ダイレクトに外国人観光客、インバウンドにつながるかは少し疑問も残りますが、台湾など南の方からくる観光客にとっては、こうしたスキー場への需要もあろうかとも思いますので、PR をどんどんして利用客の増加につなげて行きたいと考えています。</p>
盛岡委員	<p>私はスキーが好きでよくやります。天候によってリフトが止まることがあるのですが、鉛は風の具合がよいのか安比や夏油に比べて止まりませんね。それぞれに特徴があるのです。最初から規模が違うスキー場なので、それぞれにあった利用の仕方もあるのではないのでしょうか。</p>
岩淵会長	<p>委員の皆さまから意見をいただきました。委員会としての意見をまとめるにあたって、はじめに原案に賛成するか否かを確認したいと存じます。いかがでございましょうか？ (一同、「賛成」の声) それでは、原案に賛成することを本委員会の意見として市長に</p>

	<p>提出したいと思います。ここで、回答案を調整いたしますので暫時休憩いたします。</p> <p>(回答案調整)</p> <p>再開いたします。ただいま回答案が整いましたので読み上げさせていただきます。「平成 30 年 1 月 31 日付、29 花秘第 70 号をもって意見を求められておりました鉛辺地における辺地総合整備計画の変更については、原案のとおり賛成いたします。」以上のとおりでございます。この回答案をもって市長に回答したいと存じますが、いかがでございましょうか。</p> <p>(一同、「異議なし」の声)</p> <p>御異議ないとのことですので、このとおりに市長に回答することといたします。これをもって本日御協議いただく案件は以上となります。ありがとうございました。</p>
<p>佐々木地域づくり課 課長補佐</p>	<p>岩淵会長ありがとうございました。以上を持ちまして、平成 29 年度第 2 回花巻市地域自治推進委員会を閉会いたします。委員の皆様、ありがとうございました。</p>